

カレンダーデータの作り方

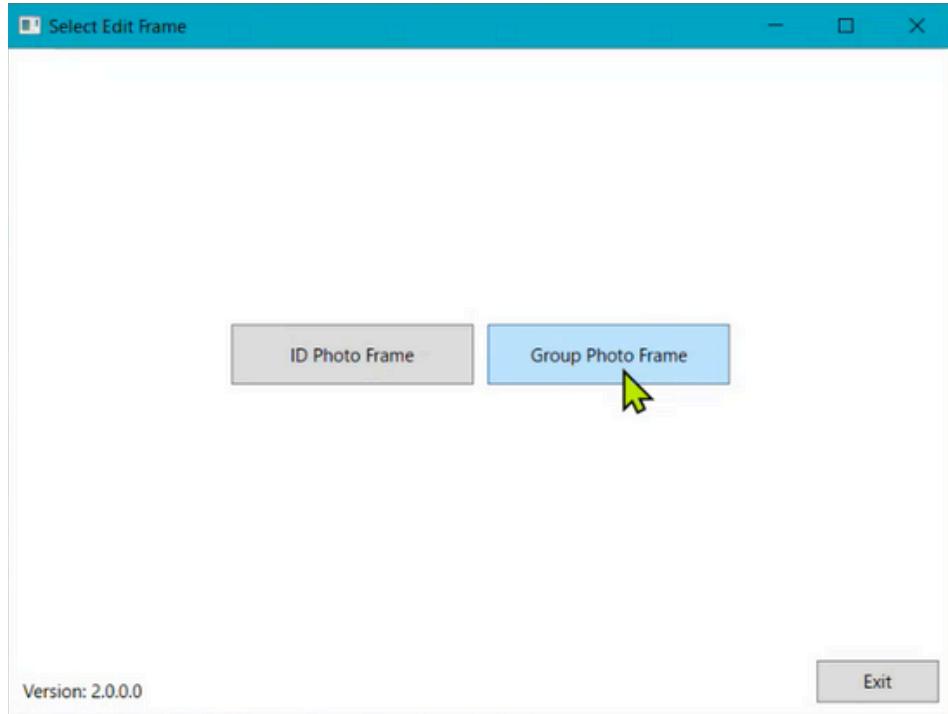
この資料では、エプソンの業務用写真機材をご使用のお客様に、
「SureLab Layout and ID」及び
付属アプリケーション「SureLab FrameEditor」を使って、
カレンダーデータを作成する方法をご説明します

資料の末尾に、受付端末でカレンダーテンプレートを
ご使用いただいたお客様向けに注意点を記載しております

1. SureLab FrameEditorを開きます

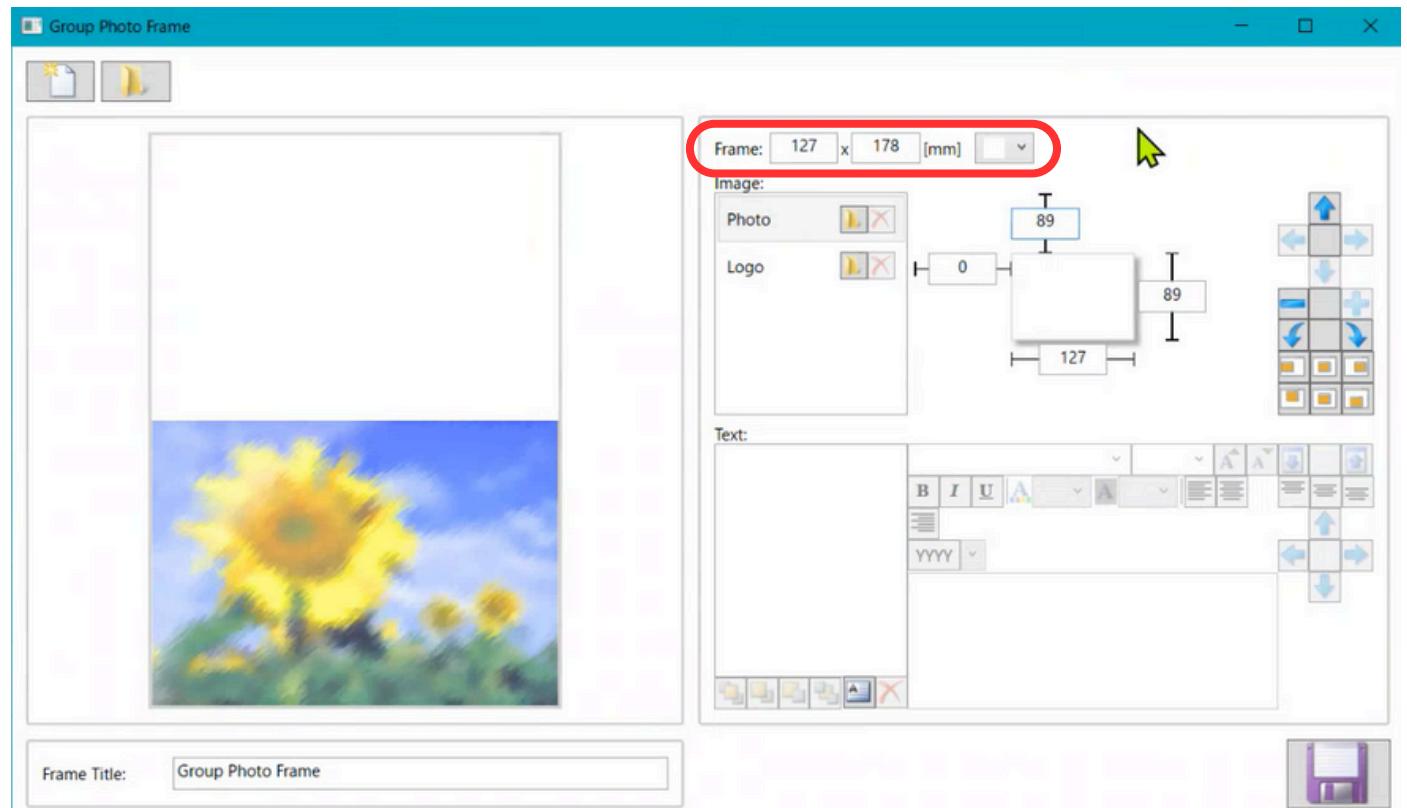


2. Group Photo Frameを選択します

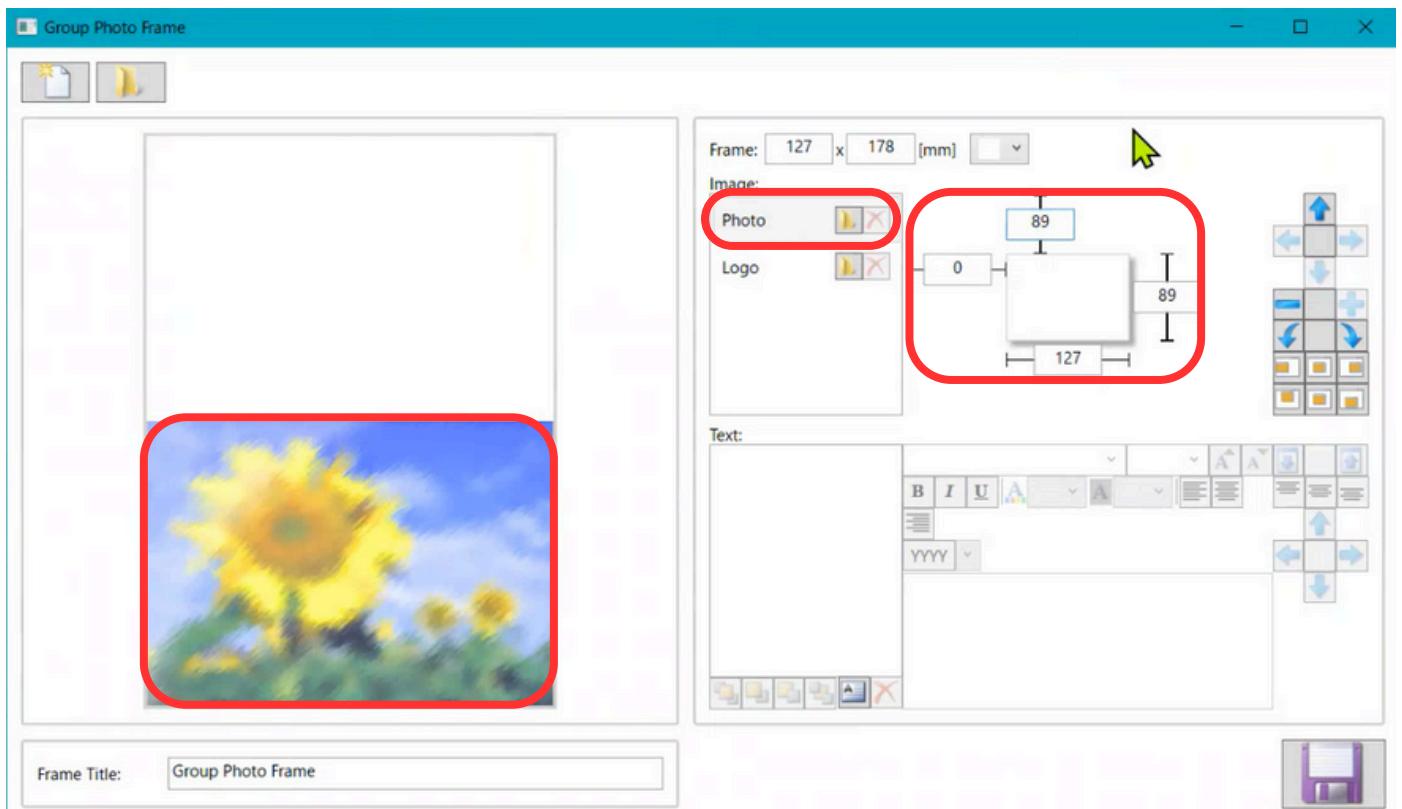


3. フレームサイズを指定します

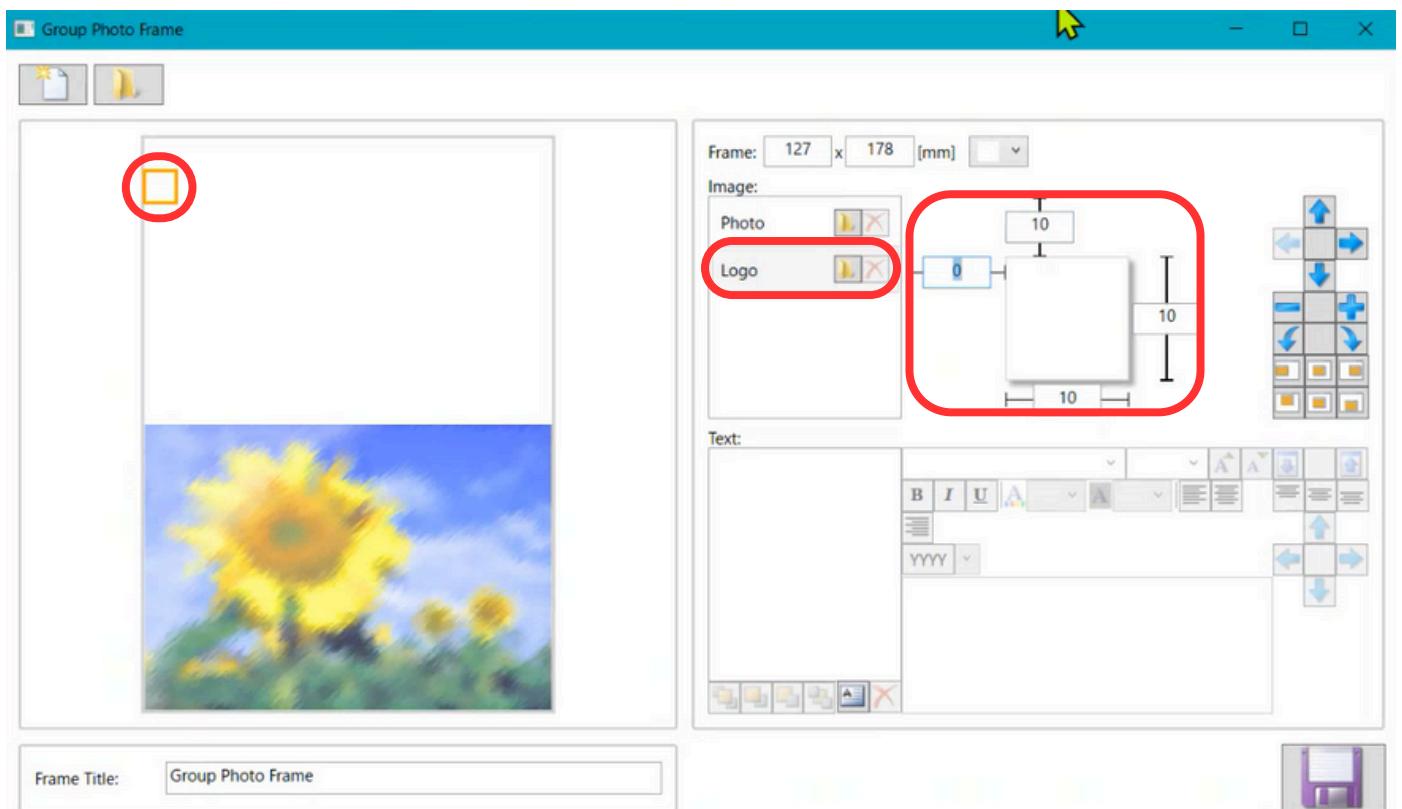
最大フレームサイズは300×300mmです



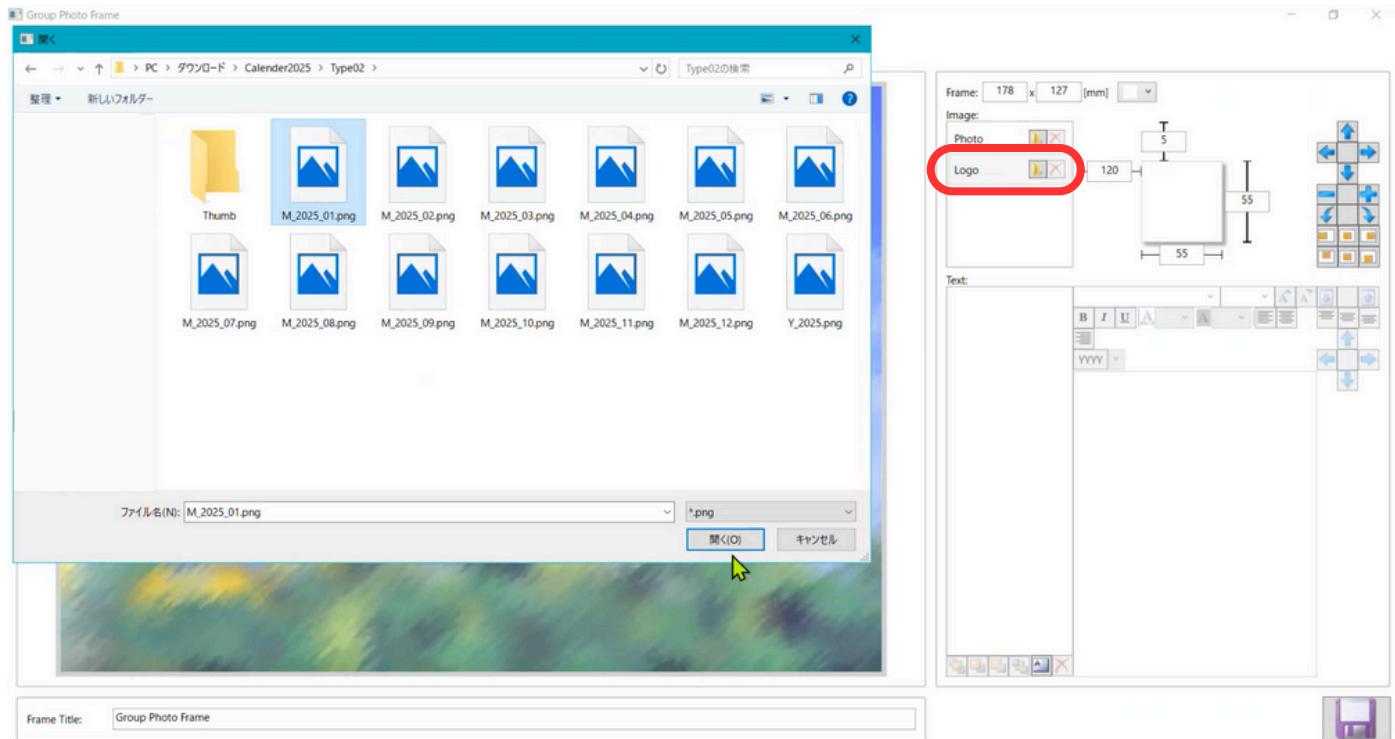
3. Photoを選択して挿入する写真のサイズと場所を指定します



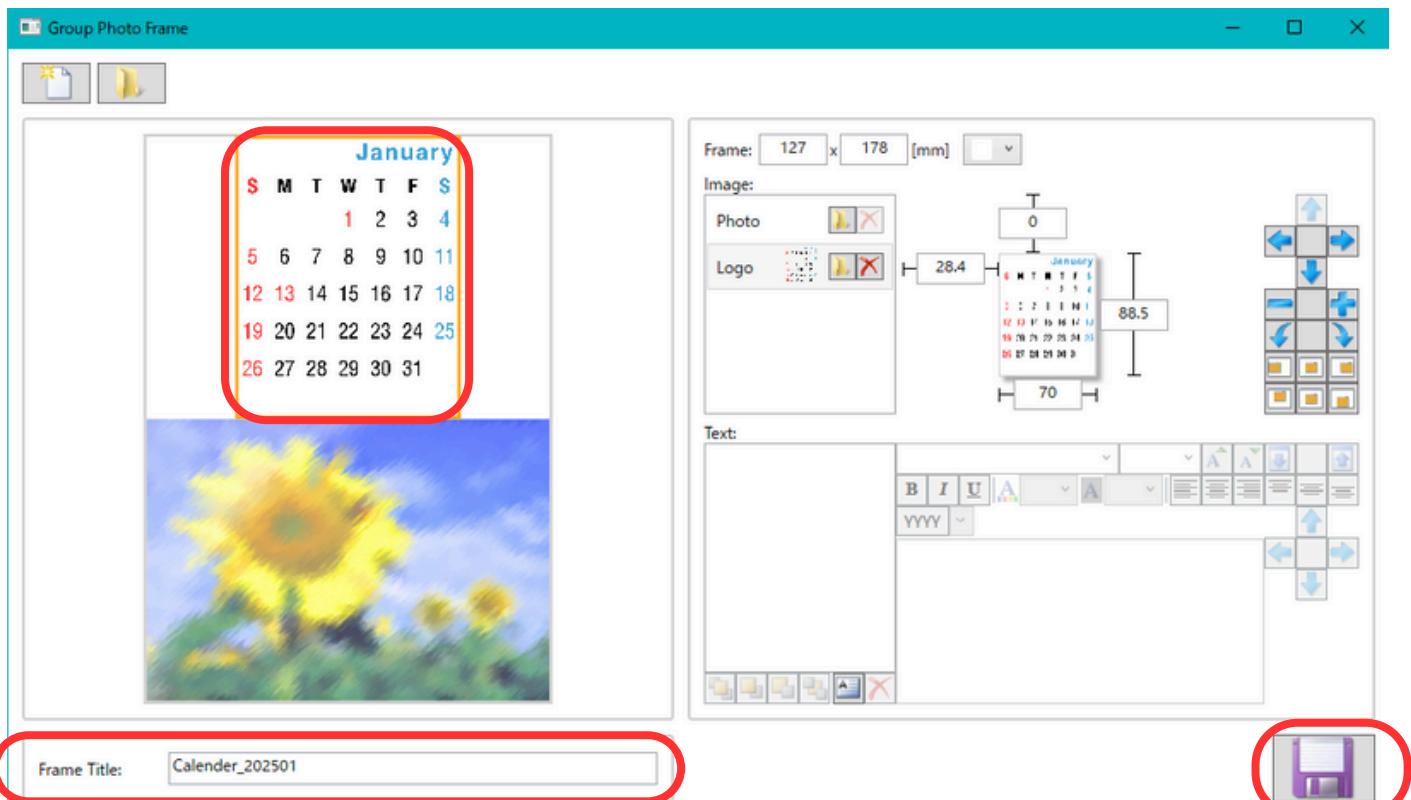
3. Logoを選択して挿入するカレンダーのサイズと場所を指定します



4. Logoのフォルダアイコンをクリックしてカレンダーを挿入します
カレンダーコンテンツはエプソンのウェブサイトから
ダウンロードいただけます (www.epson.jp/support/)



5. カレンダーを挿入したら、任意の名前をつけて任意の場所に保存します

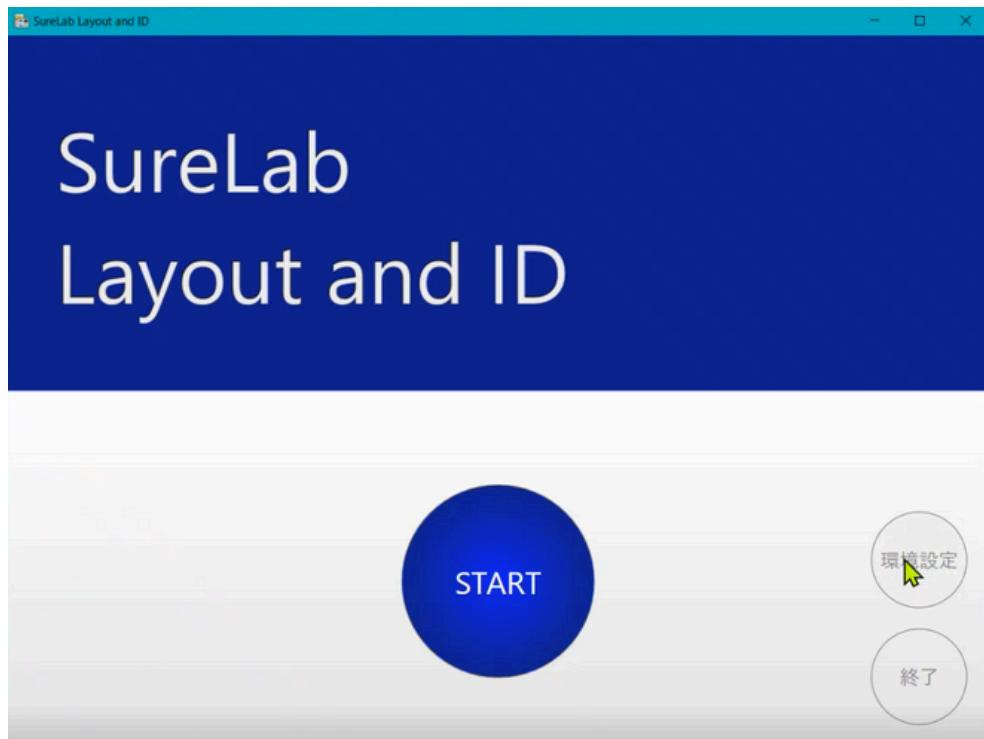


10. 以上でテンプレートの作成は終了です。

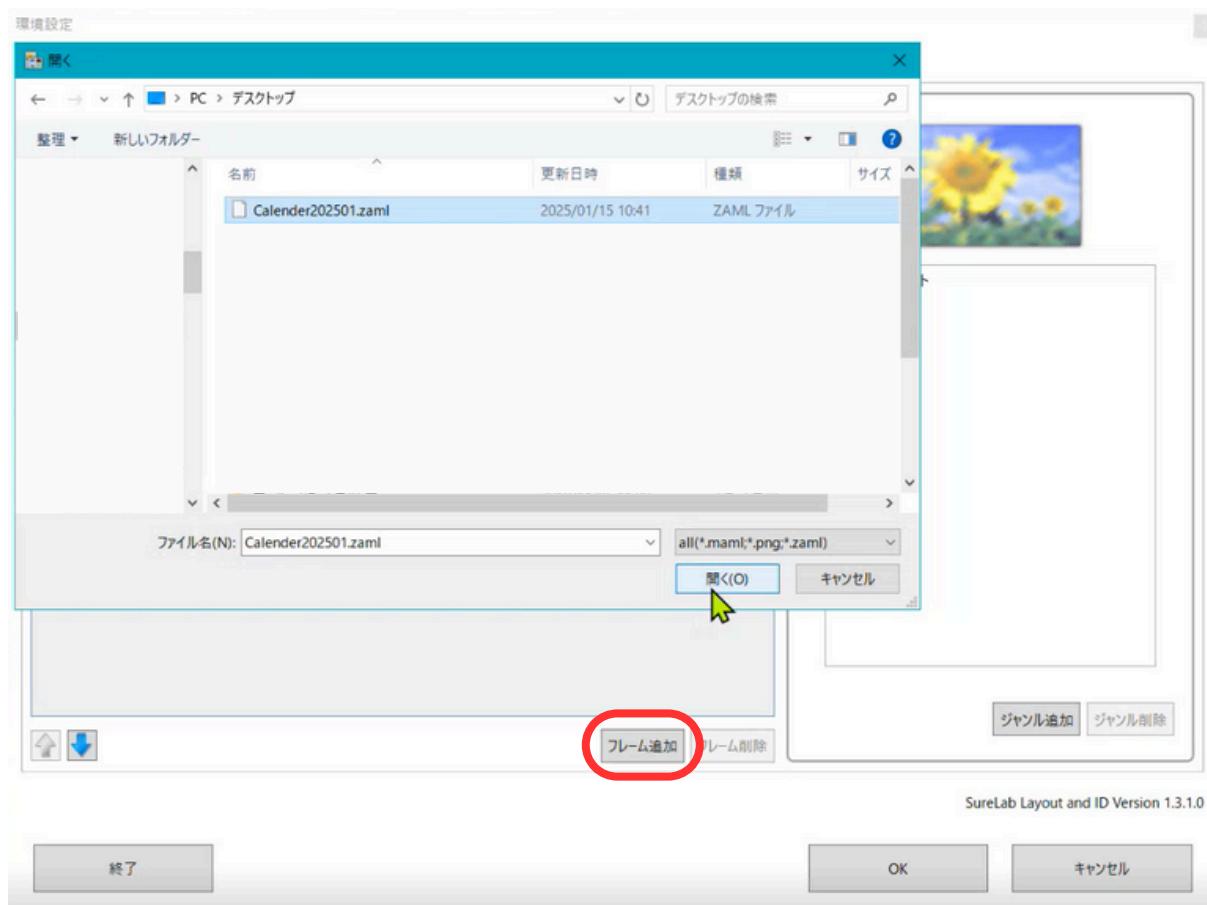
6. SureLab Layout and IDを開きます



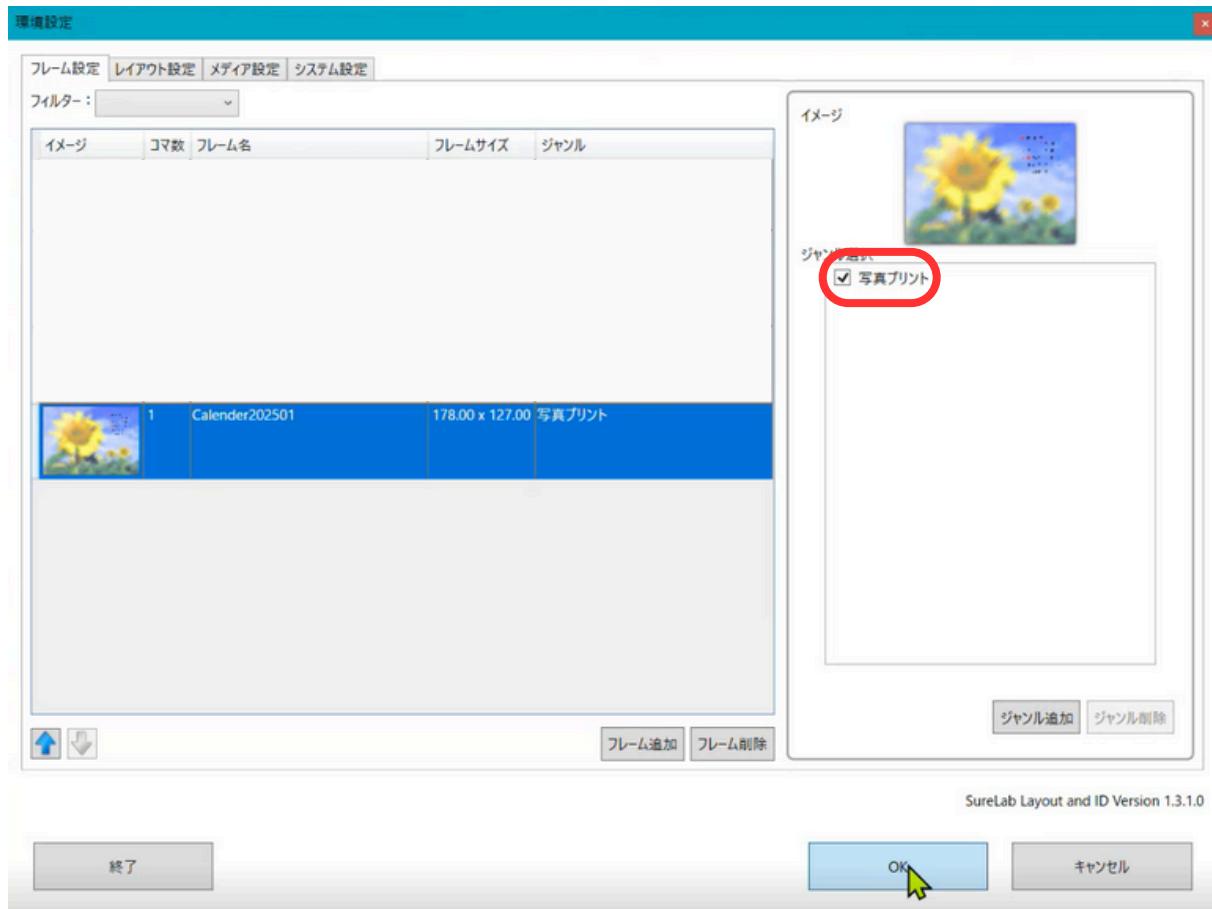
7. 環境設定を選択します



8. フレーム追加から、5. で保存したデータを開きます



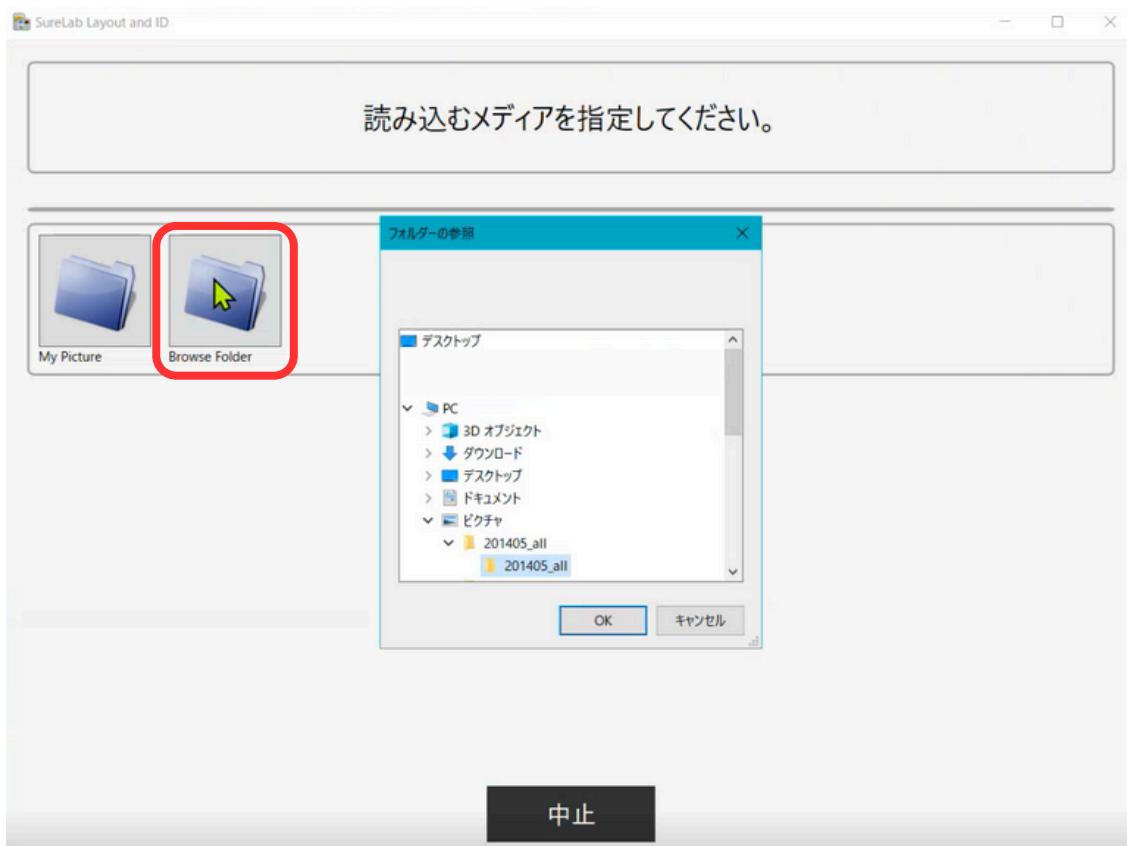
9. 開いたデータを選択して写真プリントにチェックを入れ、OKボタンを押します



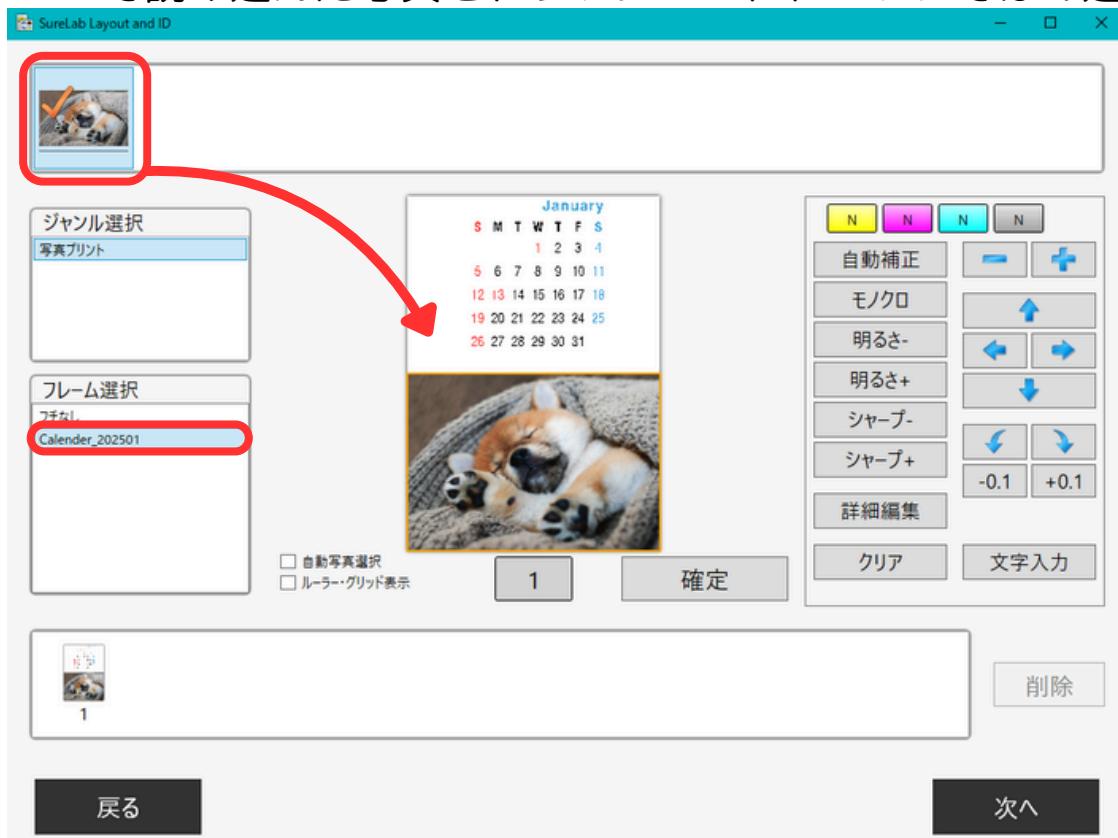
10. 以上でテンプレートの登録は終了です。

11. ここからは、テンプレートに写真を挿入する方法を説明します
SureLab Layout and IDを開いて、STARTボタンを押します

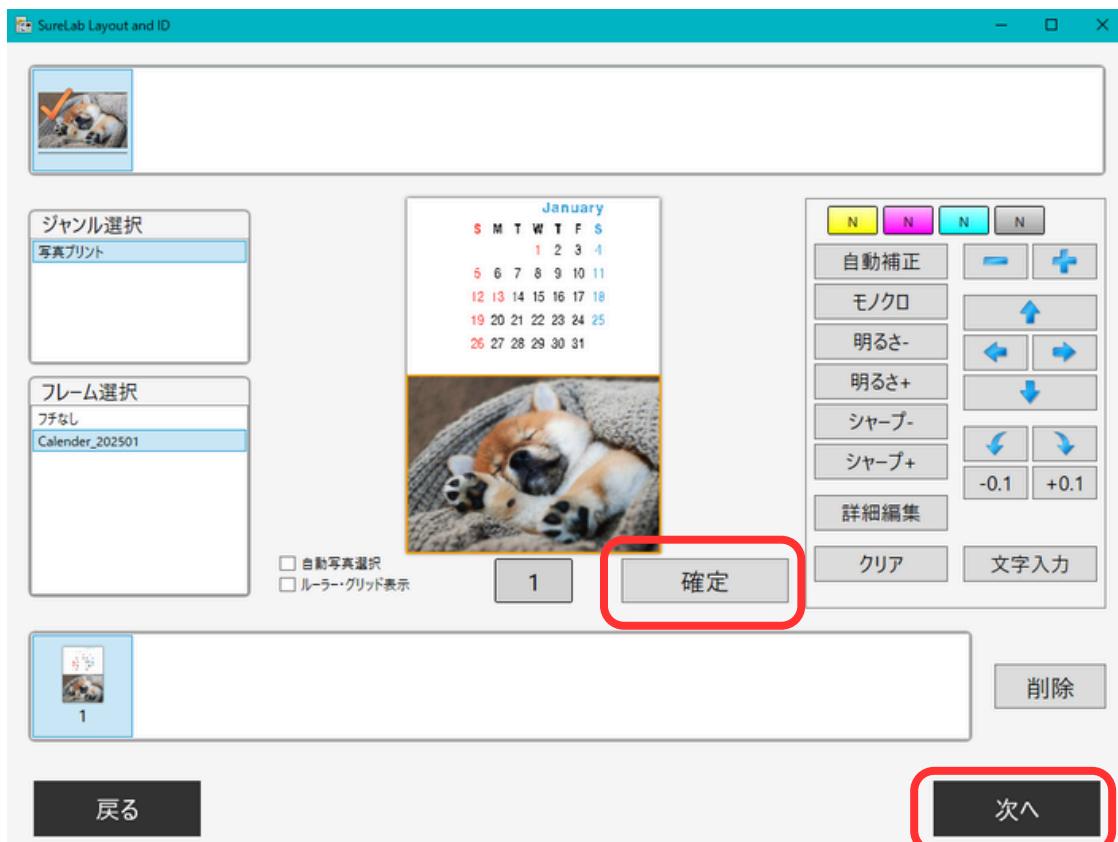
12. Browse Folderから写真を選択します



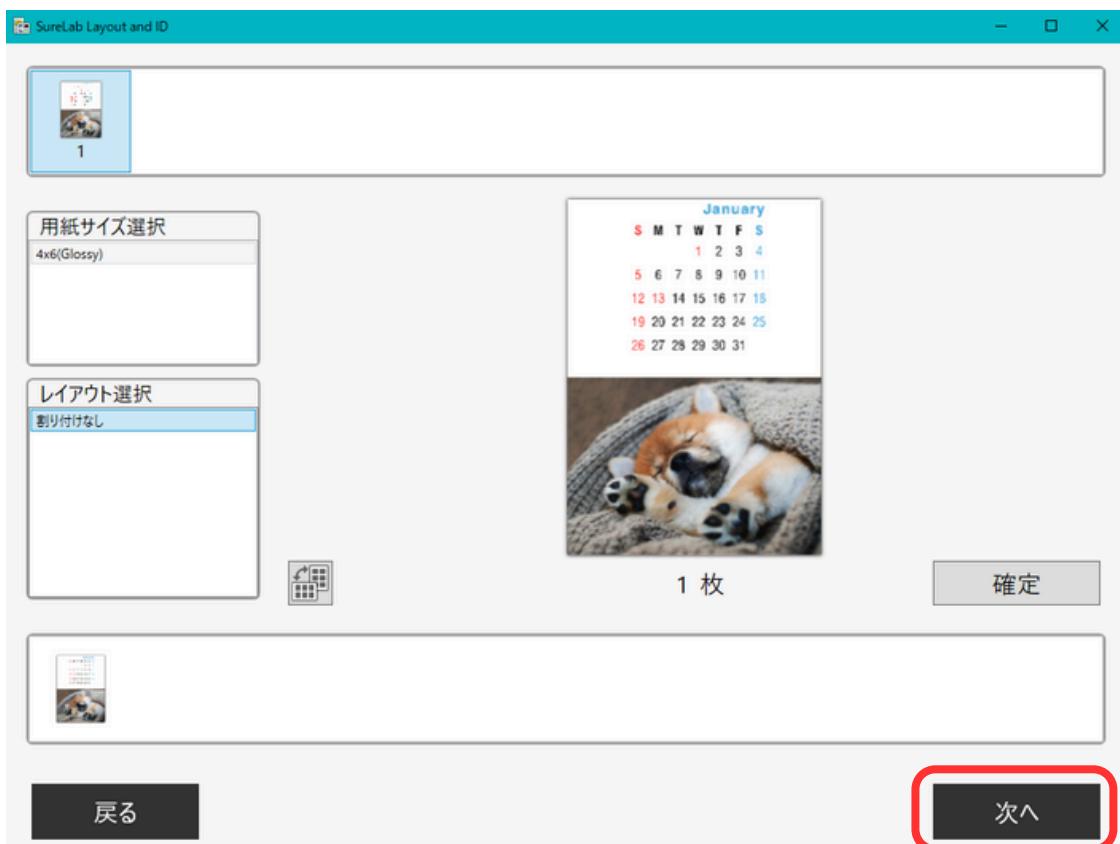
13. フレーム選択から、9. まで作成したテンプレートを選択し、
12. で読み込んだ写真をドラッグアンドドロップではめ込みます



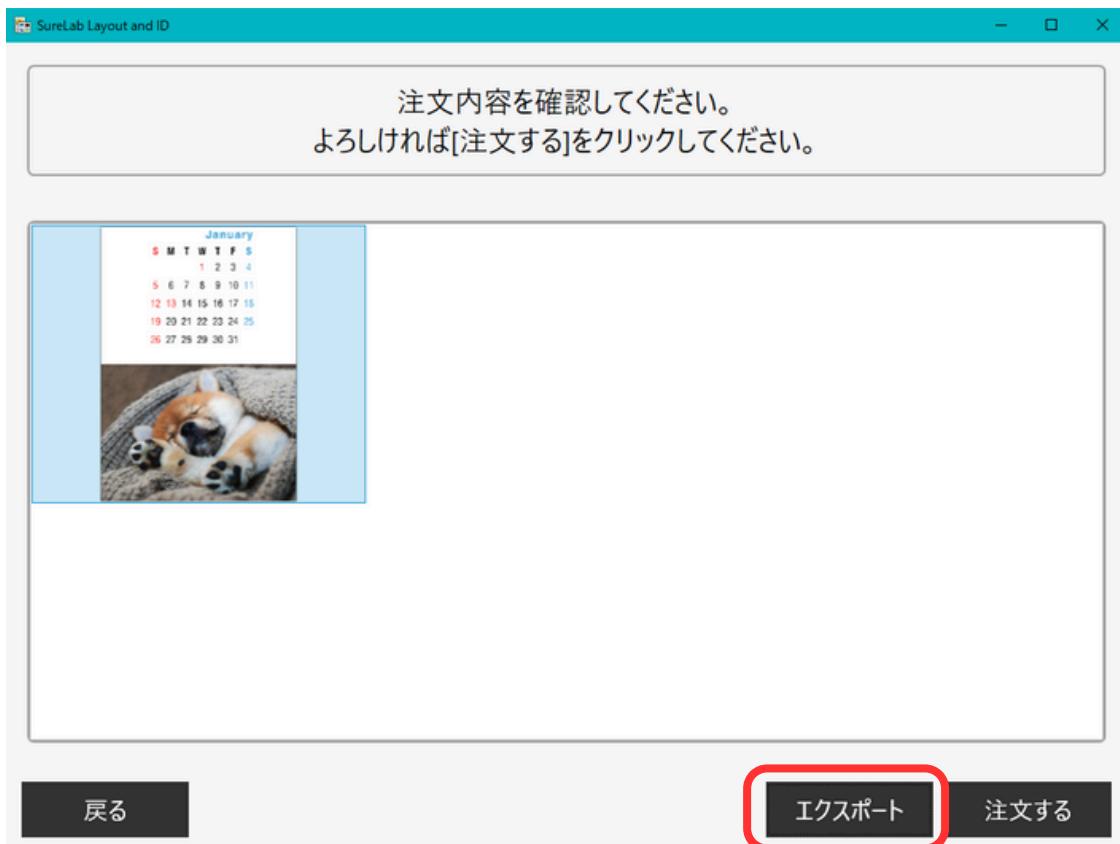
14. 必要に応じて画像を補正し、確定ボタン→次へボタンの順に押します



15. 用紙サイズとレイアウトを選択して次へボタンを押します



16. エクスポートボタンを押してデータを保存します



17. 以上でカレンダーデータの作成完了です

受付端末でカレンダーテンプレートをご使用いただいたお客様へ

- ・この資料に記載されている方法で作成したカレンダーデータを受付端末に取り込んでいただくことはできません
- ・受付端末用のカレンダーテンプレートとこの資料でご紹介しているカレンダーコンテンツでは内容が異なります
カレンダーコンテンツは受付端末用のカレンダーテンプレートに比べてご使用いただけるカレンダーの種類が限られます